

# 平成 29 年第 4 回沖縄県教育委員会会議（定例会）議事録

## 1 開会及び閉会に関する事項

平成 29 年 3 月 16 日 午後 3 時 00 分開会

午後 4 時 56 分閉会

## 2 出席者及び欠席委員の氏名

### (1) 出席者

教育長 平敷 昭人	委員 喜友名 朝春	委員 新崎 速
委員 照屋 尚子	委員 玉城 きみ子	委員 松本 廣嗣

### (2) 欠席委員

なし

## 3 説明のため会議に出席した職員の職氏名

教育管理統括監	宜野座 葵	教育指導統括監	與那嶺 善道
参事	新垣 悦男	総務課長	親泊 信一郎
教育支援課長	登川 安政	施設課長	識名 敦
学校人事課長	新垣 健一	県立学校教育課長	半嶺 満
義務教育課長	石川 聡	保健体育課長	平良 朝治
生涯学習振興課長	佐次田 薫	文化財課長	菽尾 俊章
義務教育課指導主事	上原 正人	総務課主査	照屋 潔
学校人事課主査	森 真穂		

## 4 議事関係

### (1) 開会

平敷教育長が開会を宣告した。

### (2) 議事日程の決定

議事日程は、会議資料記載の日程案のとおりとすることが決定された。

### (3) 平成 28 年第 2 回議事録の承認

全出席委員異議なく、平成 28 年第 2 回議事録を承認した。

### (4) 平成 28 年第 3 回議事録の承認

全出席委員異議なく、平成 28 年第 3 回議事録を承認した。

### (5) 議事録署名人の指名

平敷教育長が、松本委員を議事録署名人に指名した。

(6) 報告事項

報告事項1 平成28年度沖縄県学力到達度調査の結果

【説明（義務教育課長）】

資料に基づき、平成28年度沖縄県学力到達度調査の結果について報告を行った。

【質疑等】

- 玉城委員 1ページ目「4 結論の概要（1）小学校」において、「国語については、算数と比較すると早い段階から正答率30%未満児童の割合が大きい」とのお話がありましたが、私も学校現場にいて、小学校入学の時点で子ども達の間で言葉の力の差が大きく、それが読解力や文章力の差となり、学力向上や人格形成に大きな影響を与えているということを感じていました。それで、低学年でしっかり指導をしないといけないと思い指導を行ってきたのですが、上学年に行ってもなかなかこの差が埋まらない子がいるということも現実にもありました。しかし最近では、到達度調査で正答率30%未満が中学生国語で5.8%という結果に表れているように、言語活動の充実を全校一斉で取り組んでいる成果が表れてきているのではないかなと思っています。この言語活動の充実は、論理的思考力を養う上で、非常に他教科にも良い影響を与えていると思いますが、中学の数学ではこのような結果になっておりますが、その辺りは言語活動の充実との関わりでどうでしょうか。
- 義務教育課長 委員がおっしゃられたように、中学校の数学が、非常に教師の一方方向的な指導が多かったものが、ここ2、3年やはり悉皆研修等も含めて、中学校数学に力を入れているところで、随分指導の改善がなされていると印象を受けております。言語活動の充実ということで、思考し、グループで話し合いをし、それをまとめたものを皆の前で発表するという授業改善は数学でもよく見られるようになってきております。
- 照屋委員 小学校は割と習熟度別にグループやクラスを分けていますが、中学校に上がると一斉授業になりますよね。中学校で習熟度別にグループを分けている事例はないのですか。
- 義務教育課長 少人数、指導方法工夫改善で加配があり、ほとんどの学校が数学に関する加配をもらっていて、少人数クラスを編成するのですが、方法としては、つまずきの見られる子と上位の子といったような習熟度別のクラスを編成してよいのかなと思いますが、大部分が同質の少人数でやっているのが現状です。中学校になると、つまずきの見られる子だけ集めてクラスを編成すると、思春期なので少し厳しい部分が出てくるのが予想されます。
- 照屋委員 「同質」というのは、1つのクラスで、TTの授業ということですね。
- 義務教育課長 TTではなく、例えば40名学級であれば、教諭1人が20名ずつ見る

という少人数編成での授業ということになります。

- 新崎委員 趣旨の中で「児童生徒一人一人の学力の定着状況を把握する」や「各学校における授業改善の充実に資する」とありますが、調査後、どのように児童生徒の指導に還元していますか。あるいはフィードバックする状況が作れるのか、その辺を教えてくださいませんか。
- 義務教育課長 実は学力向上推進の中の一つの取組みとして、Web調査というシステムを構築していますので、そのシステムの中で学力到達度調査の個々の生徒のデータを入力しています。全県のデータが集積されますので、県教育委員会では全県のデータを分析し、各学校は自校の課題を分析し、それに取組みます。更に個々の取組みへと移っていきますので、きめ細かい定着状況を把握できるようにそれが上手く活用できれば更にいい結果が出てくるのではと考えております。
- 新崎委員 各学校では、学校の全体的な課題について実際に指導するような状況は作られていますか。
- 義務教育課長 細かい把握まではできておりませんが、それぞれの学校で分析し、そのような活用の仕方がなされていると思います。全国学力学習状況調査も順位を上げるだけではなくて、授業改善に活かすための調査ですので、それぞれの学校にはそれぞれの課題があるはずなので、県は本部会議で提言を出しますが、これは全県の課題であり、それぞれの市町村、それぞれの学校では、それぞれの課題があるはずなので、そこはしっかり分析して活用してください、とお伝えしています。到達度調査も全く同じ姿勢でやっております。
- 新崎委員 調査は一人一人のデータが出るわけですね。そうすると、一人一人に対応して指導するというのは、かなり効果があると思います。その学年で、指導する内容については身に付けて進級していく、それができればいいと思います。
- 義務教育課長 今後も、そういうことで頑張っていきたいと思います。
- 喜友名委員 Webシステムの話が出ていましたが、これは学力到達度調査のデータだけでなく、全国学力学習状況調査の子ども達一人一人のデータも入力されるということですか。
- 義務教育課長 全国学力学習状況調査は、4月末に実施した後、8月末にしか全国の結果が公表されないのですが、沖縄県はWebシステムが構築されたおかげで、すぐ分析ができるようになっております。すぐに分析ができる県は全国でも少ないのですが、そことも情報交換をしながら、沖縄県はだいたいどのような位置で、どのような課題があるという分析は、このWebシステムがあるおかげで、早急な対応ができる

ようになっております。

- 松本委員 小学校から中学校に上がる際に、結果がガタンと落ちていますが、これは他府県においても見られるものでしょうか。
- 義務教育課長 到達度調査は県独自で実施しているもので、他県と比較することはできません。
- 松本委員 先程のWeb調査が比較できるわけですか。
- 義務教育課長 Web調査は、それぞれの学年に小テストを各学校に年間10回実施してもらい、その結果を入力する中で、その単元の課題を見つけていく調査です。それ以外に、このシステムを活用して全国学力学習状況調査の結果や学力到達度調査の結果を入力する場所を作っていますので、そこに各学校が入力している状況です。
- 松本委員 これで見ると、やはり小学校算数での「数の概念化」というのが不十分だということですね。
- 義務教育課長 そちらへんは、指導方法改善の中での課題の1つです。全国学力学習状況調査で中学校が全国の水準に追いつかない要因の一つかなとも考えています。
- 松本委員 そのためにもっと力を入れるべきなのでしょうね。
- 玉城委員 関連して中学校の数学についての質問です。先程もお話がありましたが、小学校での学びが定着していないのかなと大変気になります。現在、小中一貫校や小中連携が進んでいる中で、中学校の先生が小学校で指導したり等、教職員の行き来が行われていると思いますが、県内ではどのような状況でしょうか
- 上原指導主事 小中一貫教育に関しましては、市全体で取り組んでいるのが那覇市です。那覇市は、中学校に小中アドバイザーを付け、校区内の小学校と連携しながら、お互いの教諭が行き来して授業を見合うという仕組みがあります。その他では、名護市の一部の学校で、小中一貫型の教育を進めており、沖縄市も今後進めていく予定です。
- 教育長 到達度調査は沖縄県独自の調査で、全国と比較するとしたら4月の全国学力学習状況調査しかないということですね。
- 義務教育課長 はい。
- 教育長 全県的な課題を分析し、あと各学校ではそれぞれの傾向が出くるので、でき

ていない部分に関して、どう指導を工夫するかというわけですね。フォローしていく具体的な方法はありますか。

- 義務教育課長 Web調査は年間10回あり、学期ごとに分析・改善していきます。ただ、この入力作業に教員が多忙感を感じ、各学校から改善して欲しいという意見があり、課題の一つとなっているところです。
- 教育長 Webの入力に関しては、確かにパソコンでの作業があると思います。ただ、Web調査自体は、これまでやっていた単元テストを廃止して、新たに統一のテストでチェックしようという話なので、今の義務教育課長の課題の話は入力作業の簡素化ということです。
- 義務教育課長 玉城委員も御存じだと思いますが、以前は進級テストとか、到達度テストとか、達成度テスト等、小さい豆テストを実施していました。進級テスト等は今行っている10回より多く、20数回、かなりの回数を実施していました。実施することの多忙感は改善されたかと思いますが、そこに入力する作業が加わっていますので、その辺りを少しスムーズにできるような改善をしていければと考えております。
- 松本委員 Webのデータベースへの入力作業は、非常にまどろっこしくて手間がかかるものだと思います。先生方の大部分はエクセルで作った表を持っていると思いますので、その表をそのまま取り込むような仕組みを構築すれば、入力作業が楽になると思いますが、いかがですか。
- 上原指導主事 Webシステム上に1つ1つ入力していくので、確かに手間はかかるのですが、その良さとしては、ほぼリアルタイムで市の平均との比較、地区との比較、県の平均のとの比較ができるということです。
- 松本委員 そのメリットは理解しています。問題は入力作業がもたつくということです。あるいは非常に苦痛であるということです。量が増えれば増えるほど苦痛が増えます。ですから、自分で持っているエクセルのデータをそのまま投げ込めるような仕組みを構築することができれば非常に楽になると思いますが、そのような改善はできないのでしょうか。
- 義務教育課長 問題数を少し絞ってみるとか、入力する問題数を少し減らしていくというふうに、先生方と意見を交換しながら今後改善していきましようという話し合いはしています。
- 教育長 松本委員がおっしゃっているのは、入力する数の話ではなく、既存のデータをそのまま取り込むことはできないのかということです。これは技術的な話もあると思いますが、できるのかどうか検討してください。

○新崎委員 例えばセンター試験等ではマークシートを機械で読み込み集計を行っていますよね。この達成度テストは、選択式ではなく記述式なので、マークシートのよ  
うな集計が行えないということでしょうか。

○義務教育課長 問題の中で思考をして、選択肢で回答するという形になっております  
のでマークシート方式で実施は可能です。ただ、予算等の課題もあります。松本委員  
がおっしゃるように読み込んでデータが集計されるといったようなシステムを構築  
できれば非常に改善できると思います。ただ、予算等も含めて検討できればと思いま  
す。

○新崎委員 予算をある程度確保できれば、可能であるということですね。

## (7) 議案審議

議案第1号 沖縄県教育庁等標準職務遂行能力を定める規定の一部を改正する訓令について  
議案第2号 沖縄県教育庁等職員人事評価実施規程の一部を改正する訓令について

### 【説明（総務課長）】

資料に基づき、沖縄県教育庁等標準職務遂行能力を定める規定の一部を改正する訓令及  
び沖縄県教育庁等職員人事評価実施規程の一部を改正する訓令について説明を行った。

### 【質疑等】

○照屋委員 課長の標準職務遂行能力に「部下の仕事と生活の調和や多様な働き方の推進」  
とあります。一般企業でもワーク・ライフ・バランスの取組みが何年も前からされてい  
ると思いますが、例えば、指導主事の先生方は忙しく家に眠りに帰るだけとか、土日も  
学校行事の対応に追われ忙しいと聞いたりします。生活との調和を取るために残業しな  
いで早く帰りなさいと言った場合に、逆に課長が業務を負って、多忙化してしまわない  
か懸念しておりますが、その辺はいかがでしょうか。

○総務課長 課長に求められる能力として、効率化を図った上でワーク・ライフ・ balan  
スについても取組みを進めるといった能力が求められるということです。職員が帰り易  
い環境づくりは、子育て応援プランの中でも時間外勤務の縮減ですとか、年休の取得を  
推進するとか、そういった取組みを進めるとなっております。

○教育長 課長が肩代わりするとかではなく、例えば課の中で特定の職員に業務が偏って  
いる場合に業務の再配分を行うとか、必要な業務なのかを在り方を見直すとか、全体的に  
目配せをして調整していくというのが、課長の重要な役割かと思えます。学校の校務改  
善は取り組んで参りましたが、庁内においても管理職として本来重要な役割ですので、  
まあ、本来は全て必要な仕事ではあるのですが、その辺りは優先順位を付けてですね、  
後は職員間の処理状況に応じた、応援とか、配分とか、そのようなことが重要ではない  
かと思えます。

- 照屋委員 県庁ではフレックスタイムを導入していますが、教育庁では導入されているのですか。
- 総務課長 フレックスタイムはこれからですが、30分出勤時間を早めたり、遅くしたりする早出・遅出制度については実施しており、実際に活用している職員もおります。
- 教育長 知事部局のように、きちんと5段階の時間帯を導入しているわけではないですね。具体的な話は出ているのですか。
- 学校人事課長 学校現場では導入するに辺り課題が沢山ありますので、少し難しいかと思えます。
- 総務課長 教育庁内では、平成29年度から実施したいということで準備をしています。
- 玉城委員 旧と新を比べた場合、とても具体的になり分かり易くなったと思います。組織の活性化が加えられていますが、組織の活性化について人事評価していくわけですが、その基準はあるのですか。
- 総務課長 具体的な評価基準が設けられており、それぞれの視点を設けて、それができているかいないかを見て進めていくことになっております。
- 教育長 着目点のような感じですね。
- 新崎委員 今、政府において働き方改革だとか、職務の効率化というのが課題になっています。今回の改正はそれとも関連があるのでしょうか。
- 総務課長 今回の改正の中心はワーク・ライフ・バランスとなりますが、そのためには業務の効率化を図らないとそういった取組みはなされませんので、そういった意味で業務の効率化に向けた取組みを行うということがあります。国のそういった動きも当然背景にあってこの訓令の改正を進めていくという理解をしております。
- 新崎委員 改正案では課長が中心となって取り組むような記載になっていますので、やはり、部下職員に対する影響は大きいと思います。多くの職員が自分自身の問題として、働き方だとか、業務について考える契機になるのではと期待をしております。
- 喜友名委員 組織の活性化は、現在、企業でもワーク・ライフ・バランスですとか、多様な働き方ができるという趣旨でもダイバーシティなど様々な取組みをしているところだと思います。女性にとっても男性にとって働きやすい環境の整備は、教育分野だけではなく、他の分野でも全国的に進んでおり、そういう意味ではロールモデルはあると思っています。今後は各県どのような取組みをしているのかの把握をしながら、しっかり

業務効率化に向けて頑張っていたきたいと思います。

- 松本委員 多様な働き方というのはどの程度の範囲を言っているのでしょうか。例えば、在宅でずっと働くということは難しいかと思いますが、何種類がこの多様な働き方に入っているのですか。
- 照屋主査 具体的にそこまでは考えていないのですが、今考えているのは、フレックスタイムの導入等です。
- 松本委員 それが多様なのですね。
- 総務課長 今のところ、そこまでとなっております。
- 教育長 民間だとネットで繋がって在宅で働く等の事例はございますが、公務員の場合には他県でもそこまでいかないと思います。

#### 【採決の結果】

全会一致により、原案のとおり可決された。

#### 議案第3号 教育職員免許状に関する規則の一部を改正する規則について

#### 【説明（学校人事課長）】

資料に基づき、教育職員免許状に関する規則の一部を改正する規則について説明を行った。

#### 【質疑等】

- 玉城委員 「単位修得証明書」が「学力に関する証明書」に変わりますね。
- 学校人事課長 はい。本来、「学力に関する証明書」が適切な表現でしたので、このように変更いたしました。
- 玉城委員 この「学力に関する証明書」というのは、単位を習得する際の学力ということになるのですか。
- 森主査 「学力に関する証明書」というのは、教育職員免許法で定めている様式になっていまして、教員免許を取るために必要な単位を取ったということを証明する専門の様式になっています。全ての単位ではなく、免許を取るのに必要な単位だけを記載している証明書となります。こちらで審査する際に、それぞれの大学は自分のところの学生が教員免許を取りたいので証明書を下さいというと、必ずこの様式で出さないということになっております。こちらの様式でなければ、必要な単位を修得しているかどうか判



断ができないために必ずこれを求めているところですが、「単位修得証明書」と現行規則に記載されていますので、通常の成績証明書と勘違いする方も多かったものですから、今回修正するという事です。

- 学校人事課長 要するに、免許法上必要のない単位も含めている成績証明書と間違いやすいということで、修正するという事です。
- 松本委員 言葉は変わっていますが、中身は一緒ということですか。
- 学校人事課長 我々の取り扱いとしては、中身は一緒なのですが、先程申し上げたように、「単位修得証明書」が教職に必要な単位以外も全部含まれるような証明書を大学が出す場合があるので、より適切に表現に改めたということです。我々としては取扱いに変更はございませんが、混乱が起こらないようにということです。

【採決の結果】

全会一致により、原案のとおり可決された。

議案第4号 「沖縄県読書活動推進基本計画」について

【説明（生涯学習振興課長）】

資料に基づき、「沖縄県読書活動推進基本計画」について説明を行った。

【質疑等】

- 照屋委員 那覇市が行っている「ブックスタート事業」や、小学校では読み聞かせが各学校で行われていたりとか、乳幼児期から小学校期までは割と充実していると思います。講演会等で中学校の読み聞かせを行うと良いと聞いていますが、読み聞かせを行っている中学校と、全くおこなっていない中学校があると思います。これは学力にも繋がっていくのではと思うのですが、中学校に進学した途端に読書離れが起きてしまっていると感じます。PTAとか、読書活動推進団体等と連携して、是非中学校の方も読み聞かせが広がればと思いますので、よろしくお願いします。
- 生涯学習振興課長 照屋委員が仰るように、中学校では、読書活動をしている学校と、していない学校の差がございます。県民への広報・啓発活動の中で、読書活動で良い活動をしている所はどんどん表彰して周知していきたいと思っています。
- 照屋委員 全県へ広げて欲しいと思います。
- 玉城委員 多様な面から、きめ細やかな計画が作成されており、特に今回は読書活動推進基本計画の中に沢山の事例があり、本当に「読書県おきなわ」の実現に向けて着実に歩んでいるということを実感することができました。特に、子どもの貧困と読書について

て、県立図書館から児童施設・福祉施設等に一括貸出を行い児童の読書環境の充実を図っておられることに大変敬意を表したいと思います。ところで、最近私も公共の図書館をよく利用するようになっておりますが、那覇市立図書館、浦添市立図書館、県立図書館へいつ行っても利用者にシニア層が多いことを実感しています。このシニアの方々は生涯学習として、読書を生きがいにしたり、図書館を居場所づくりにしているような雰囲気もあります。シニアの視点からの見た図書館のあり方も考えておられると思いますが、その辺について、もう少し詳しくお話しを伺いたいと思います。

- 生涯学習振興課長 現在、県立図書館の方に医療コーナーを設置し、探しやすい工夫を行ったり、課題解決型支援事業を今回平成 29 年度から行いますが、今まで行ってきたビジネス支援に加え、医療・子育ての分野についても図書館で研修・セミナー等を今後計画していきたいと考えております。
- 松本委員 若い人達は時間もないし、図書館に行って本を探したり、借りたりする手間を省きたいという人がかなり多いと思います。Webで見れるとか、資料にも少し書いてあるようですが、インターネットとの連携については今回準備したのでしょうか。
- 生涯学習振興課長 レファレンス共同データベースというものがあり、これは携帯電話からアクセスすることができます。借りたい本があれば携帯電話から図書館に申請して取っておくことができます。
- 松本委員 私の知り合いには、一度も自分で単行本も雑誌も購入しないという主義の人がいまして、この人は徹底的に図書館を利用しています。こんな雑誌まで図書館で借りているのかと驚くくらいに図書館を活用しています。ですから、そういう要求を持っている方々は沢山いると思いますが、その要求に答えるための予算というのは十分確保できているのでしょうか。
- 生涯学習振興課長 本を予約できるシステムはありますので、予算は必要ないと思っています。新図書館に向けて今システム開発をしております。新図書館が開設される際には、さらに充実した形で、できるのではないかと考えております。
- 教育長 松本委員がおっしゃっているのは、電子書籍という意味ですか。
- 松本委員 電子書籍ではないです。普通の単行本や雑誌を図書館に購入していただきたいということです。市町村立の図書館はよく購入してくださるようなのですが、そのような予算は県立図書館には配分されているのでしょうか。
- 生涯学習振興課長 図書館には、選定委員会というものがあって図書を購入する場合は委員会に図ることが必要になっていきます。あと、一般の雑誌については、通常の範疇の雑誌であれば取り揃えることはできると思います。

○ 喜友名委員 読み聞かせの効果として言われているのが、集中力・思考力・想像力・知的好奇心の向上です。先程、言語活動のこともありましたが、知能の発達を促すために、やはり本を読んであげることは効果があるということでした。読み聞かせについては、へき地・離島も含めて環境にあまり差はないと思いますが、やはり都市地域に比べてへき地・離島は読み聞かせ用の図書が十分に揃っているか懸念しております。そのためにも学校が地域コミュニティの拠点であるというところを活かして地域の学校図書館に、地域のお母さん達が読み聞かせの図書を気軽にいつでも借りにいける環境を作っていく必要があると思います。その辺りへの配慮を要望しておきます。

○ 生涯学習振興課長 一括貸出というシステムがあり、6か月から1年間、要望があれば貸し出しております。一括貸出は、様々なメニューから選べるようになっており、読み聞かせに関する図書を束ねた一括貸出のメニューもございますので、こういったことを周知しながら充実を図っていきたいと思います。

○ 新崎委員 今の話は、離島から要望があれば送ってもらえるということですか。

○ 生涯学習振興課長 離島に限らず、本島内であっても要望があれば貸し出しています。例えば、病院内の待合室とかにも広げていっているところです。

#### 【採決の結果】

全会一致により、原案のとおり可決された。

議案第5号 学校職員の人事について（非公開）

議案第6号 学校職員の人事について（非公開）

議案第7号 学校職員の人事について（非公開）

議案第8号 学校職員の人事について（非公開）

#### (8) その他

特になし

#### (9) 閉会

平敷教育長が閉会を宣言した。